

ポートルネッサンス21計画事業予定者の取り消し

11月18日、ポートルネッサンス21計画の2、3ゾーンの事業予定者の取り消しを行いました。

事業予定者においては、平成20年12月に締結した基本合意書に基づき、同21年12月末日までに基本計画の合意に至ることができるよう尽力してこられ、この事業を実施したいという意思は以前と変わっていないということでありました。

しかしながら社会・経済情勢は未だ厳しく、事業の実施を断念せざるを得ない旨の意向を示されたので、今回、事業予定者の取り消しを行うこととしたものです。



ポートルネッサンス21計画で事業予定者から提案されていた2、3ゾーンのイメージ図

用の方向性について、市議会のご意見も伺いながら再検討した上で進めていきたいと考えています。

石木ダム建設促進

石木ダム建設事業については、11月9日、国土交通省九州地方整備局に対して事業認定申請書を提出しました。今後は、認定庁である国土交通省において内容を精査され、準備が整い次第、諸手続きに入られるものと思えます。

現在、政権交代によりさまざまな公共事業の見直しがなされていますが、このような中で、国に石木ダムの必要性等について改めて審査していただき、それを認めていただくことで、地権者の方々を含め、多くの皆様のご理解をより一層深めていただくことができるものと期待しています。今後も、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

中国でのトップセールス

11月21日から24日までの4日間、過去数回にわたりトップセールスを行ってきた中国蘇州市・上海市を市民の皆さんとともに訪問しました。今回は、4月から5月に佐世保旅館ホテル協同組合が実施された宿泊施設増設キャンペーンで当選された25組50名の皆さんや市民の皆さんと一緒にチャーター機を利用して訪問し、中国からも同じチャーター機を利用してたくさんの観光客に訪問していただきました。

また西海国立公園九十九島水族館「海きらら」に、下村博士にご協力をいただいた「下村博士研究コーナー」を設けていることもあり、下村博士にぜひとも「海きらら」の名誉館長に就任していただきたいと、今回お願いをし、快くお引き受けいただきました。「海きらら」については、下村博士の名にふさわしい施設運営を目指し、今後も充実した内容の展示に心掛け、多くの皆さんに九十九島の素晴らしさを伝えていきたいと思えます。

交通局子会社の運行開始

12月1日から、交通局の子会社「させほバス株式会社」によるバス路線の運行が開始しました。現在、市営バスは運行本数が全体で960本ありますが、させほバスは矢峰営業所が運行している366本のうち、30本を自社路線として、336本を交通局からの受託路線として運行するものです。

本市の交通事業については、公営交通としての使命を達成するため、今後とも管理の受委託など



させほバスの開所式で花束を手にする運転士の橋爪浩さん

経営の健全化に積極的に取り組みながら、市民の皆さんの生活の足の確保、まちづくり、環境保護など、幅広い分野でお役に立てるよう努めていきます。

佐世保勢の活躍

9月11日から13日まで東京都で開催された「東京2009アジアユースパラゲームズ」水泳競技100m自由形において、日本代表として出場された岩本将希選手（九州文化学園高校2年）が見事優勝されました。

10月1日に新潟県上越市で開催された「第64回国民体育大会」体操競技（成年女子団体総合）では、長崎県代表監督として出場された椋本崇子選手、選手として出場された本市出身の椋本啓子さん、大久保奈美さん、小川知華さん、瀬尾はやみさんの5人のメンバーが優勝され、国体2連覇を達成されました。

10月10日から12日まで新潟県新潟市で開催された「第9回全国障害者スポーツ大会」陸上競技では、野中雄太選手（県立佐世保養護学校3年）が200m、400mで、中村正義選手（同校3年）が100m、200mで1位になられ、水泳競技では、岩本将希選手（九州文化学園高校2年）が25m自由形、50m自由形の2種目で1位になられ、卓球競技では、川久保美鈴選手（県立佐世保養護学校1年）が2位になりました。

これは選手一人一人と、選手を支える関係者の絶え間ない努力がもたらした成果であり、本市スポーツ界だけでなく、市民の大きな誇りです。

下村脩ジュニア科学賞表彰式

10月19日、ノーベル化学賞の受賞者で、本市名誉市民の下村脩博士にご出席いただき、「下村脩ジュニア科学賞・SASEBO」の表彰式を開催しました。

この賞は、下村博士のノーベル化学賞受賞を契機として、本市の小・中学生に科学の面白さを感じてもらい、科学を好きになってもらうことを目的として本年度に創設したものです。

下村博士から受賞記念の盾と激励の言葉を受け、今後の努力を誓った子どもたちにとっては、一生忘れられない貴重な一日になったことと思います。今後この佐世保から、下村博士に続く世界的に活躍する人材が輩出されることを期待しています。



「下村脩ジュニア科学賞・SASEBO」の表彰式で受賞者に記念の盾を渡し、笑顔で握手する下村さん



蘇州市で開かれた友好交流会であいさつする朝長市長